

日本スタートアップ大賞 2023



農林水産大臣賞

(農業スタートアップ賞)



 vivid garden

株式会社ビビッドガーデン



NIPPON
STARTUP
AWARD
2023



農林水産大臣賞 (農業スタートアップ賞)

NIPPON
STARTUP
AWARD
2023



<https://vivid-garden.co.jp/>

デバイスによって読み取れない場合があります。



株式会社ビビッドガーデン

〒105-0013 東京都港区浜松町1-7-3 第一ビル4F



代表取締役社長

秋元 里奈

神奈川県相模原市の農家に生まれる。慶應義塾大学工学部卒業。2016年11月に株式会社ビビッドガーデンを創業し、2017年8月に生産者から食材や花卉などを直接購入することができる産直通販サイト「食ベチョク」を正式リリース。



生産者の“こだわり”が、正當に評価される世界へ

VISION

事業のビジョン

規模の小さい生産者にとって現在の流通構造は、どれだけ味にこだわっても形や大きさで価格が決まってしまうため利益を出しづらい仕組みです。市場に卸し小売店などで販売される食材の生産者の粗利は、小売価格の約3割～5割程度です。さらに人件費などの生産コストが引かれ、生産者へ還元される利益はごくわずかです。そのため、生産者自身が価格を決めて自分の農園名でブランドを作っていくことができる産直通販サイト「食ベチョク」を立ち上げ「生産者のこだわりが正當に評価される世界」の実現を目指しています。

OVERVIEW

事業の概要

従来の物流構造では、生産者に価格決定権がない、手取りの割合が低いという課題がありましたが、生産者と消費者を直接つなぐプラットフォーム「食ベチョク」を構築することで、新たな販路の選択肢を提供しています。「食ベチョク」では生産者さんが出品した商品を単品で購入できるだけでなく定期便サービスも展開しています。2018年に開始した独自の野菜定期便サービス「食ベチョクコンシェルジュ」では、消費者のアンケート情報やフィードバックを反映し最適な生産者をマッチング、好みに合わせた野菜セットが届くサービスを提供しています。生産者は安定した注文量を確保でき、消費者はパーソナライズされた好みのセットを受け取ることができます。そのほか、ネットに不慣れな生産者も手軽に使えるサービスを目指し、2020年に開始した「ご近所出品」では若手生産者が代表生産者となり、同じ地域でネットが使えない高齢の生産者の商品を一緒にグループで出品ができる仕組みを構築しています。これにより最高齢で94歳の生産者が出品しています。

HISTORY

起業に至る
経緯・動機

代表である秋元の実家は元々小規模で農家を営んでいましたが、「農業は儲からないから継ぐな」と両親に言われており、中学の時に廃業しました。その後、株式会社ディー・エヌ・エー(以下「DeNA」)に入社し、農業とは縁遠い世界に入りましたが、数年後にふと実家の畑を見た際、色鮮やかだった農地が耕作放棄地となってしまっている状況を受けて「なぜ生産者が儲からないのか」という疑問を抱いたことが起業のきっかけになりました。一次産業の現状について調べる中で実家と同じような悩みを抱える生産者が多くいるという現状を知り「DeNAで培ったITの知識を活用し、日本の一次産業が抱える課題を解決したい」と強く思い、25歳の時に退職、一人で起業しました。